

結婚の約束

昭和十六年生まれ 匿名希望

この思い出は、私の記憶ではなく、後に母から聞いた話です。戦争は益々激しくなり、三十半ばを過ぎた私の父も、昭和19年に戦地に行きました。

我家の傍に、藤原さんというおウチがあり、シヨウスケさんというお兄ちゃんがいました。確か、当時、関大生だったと思います。

そのシヨウスケさんが、ある日、真っ白な軍服姿で、我が家に挨拶に見えたそうです。

特攻にでも志願されたのでしょうか？ 私はまだ2〜3歳だったと思いますが、その頃からイケメン好みだったのです。そこで

「アーチは、大きくなったら、シヨウスケさんのオヨメちゃんになる」と言ったそうです。

当時、私はまだ自分のことを「ワタシ」と言えなくて、皆から、「アーチ」と呼ばれていたのです。

シヨウスケさんは、私を膝の上に乗せ、

「アーチのおしめがとれたらな」と言われたそうです。

確か、戦争が終わると、無事に帰還され、関大に戻られたはずですが、でもおウチも関大前の方に移られました。今はどうされているのかな？

おわり

沖縄での光景

昭和三十九年生まれ 匿名希望

正月休みに沖縄へ家族旅行に出かけました。初めての沖縄でしたので、ひめゆりの塔や平和祈念公園、旧海軍司令部壕など、いわゆる観光名所を観て回りましたが、そこで見た戦争の悲惨さや壮絶さは、想像を上回るものでした。

戦争のない時代に生まれ、育った私に、戦争への特別な感情はありませんが、二度と起きて欲しくないものです。

おわり